

事業番号	03 02 01	事業改善シート（令和 8 年度実施事業分）				■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	業務改革（BPR）推進事業費	部局	総務部	課・室	人事課				
		実施期間	R7 ～	E-mail	jinji-bpr @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

県職員の大量退職期の到来に加え、人口減少や採用倍率の低下により、職員の確保が大きな課題となっている。さらに、行政課題は複雑化・多様化しており、限られた人員で質の高いサービスを維持するためには、付加価値の高い業務に集中する必要がある。そのため、業務の効率化による業務量の削減は喫緊の課題である。R7年度にモデル所属で試行した業務改革（BPR）は一定の成果を上げたものの、全庁展開や職員の主体的な取組は依然として限定的である。今後は、全庁的な共通業務の見直しと、BPRに自律的に取り組む人材の育成が急務である。

2 事業目的

限られた人員で県民サービスの質を維持・向上するため、全庁で徹底したBPRに取り組み、自律的な改善文化を醸成する。R8年度は、R7～R9の集中改革期間の2年目として、全庁共通業務の仕組み化と職員の実践力強化を進め、持続可能な行政運営の基盤を構築する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①共通業務の仕組み化と個別の業務改善の推進と実装
- ・【拡】全庁共通業務の効率化を図るため、専門事業者による業務分析と改善策の実行・仕組み化を検討するほか、サマーレビュー等と連動して個別業務の改善も推進する。
 - ・【拡】職員が所属ごとに改革を実行し成果を創出できるよう、職員研修の実施により知識の底上げと実践力の強化を図る。
 - ・【新】R7年度にモデル的に実施したBPRの取組を全庁へ展開するため、AIを活用した相談業務支援といった具体的な改革方策を実行する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし －：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①-1	業務量削減	時間	－	－	－	－	0	－	1.8万	↘	R8年度中に創出できる削減量を推定して合計
①-2	業務改革施策の創出	件	－	－	－	－	6	↗	4	↗	BPR実行支援により全庁共通業務において創出を見込む件数

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分		予算額					決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	↘	2月上旬公表予定	↘	0	0	↘	8.0
	要求	↘	94,972	↘	94,972	84,580	↘	
R7年度		0	58,748	0	58,748	58,748	↘	8.0
R6年度		0	0	0	0	0	0	8.0

事業番号	03 02 01	細事業一覧（令和8年度実施事業分）		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	業務改革（BPR）推進事業費		部局	総務部	課・室	人事課

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	業務改革（BPR）推進事業		— 千円	58,748 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 55,812 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	専門事業者によるBPR実行支援	委託	【拡】全庁共通業務の効率化に向け、専門事業者の知見を活用して課題を抽出し、改善策の実行と仕組み化を進める。また、サマーレビュー等と連動し、個別業務の改善を加速するため、必要な実行支援を実施する。		
			改善策検討件数：全庁共通業務から4件、個別業務で20件		
2	BPR人材育成	委託	【拡】自律的に業務改善に取り組むBPR人材を育成するため、以下2点を実施する。 ①BPR認知の裾野を広げる基礎コース（全職員向け、オンライン・動画視聴中心） ②参加者の業務の改善を実行する実践コース（指定所属・希望者向け集合研修）		
			①動画研修の実施：1回、②集合研修の実施：2回		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	全庁業務改革施策の実証・展開事業		— 千円	— 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 39,160 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	AIを活用した相談業務支援	直接	【新】相談記録を自動で文字起こし可能なサービスを導入し、記録作成業務を効率化するとともに相談の質の向上につなげる。		
			導入箇所：1か所以上		
2	対外交渉記録作成業務効率化	直接	【新】交渉業務における記録作成業務の効率化と正確性向上を目的とし、携帯性の高い音声認識ツールを活用する。		
			導入箇所：10か所以上		
3	定型業務外部委託	委託	【新】複数所属の補助金・交付金業務について、一連の業務プロセスのうち定型的な作業・業務を切り出し、外部委託する。		
			委託対象業務：10以上		
4	UX改善（県民問合せを減らす県HP導線設計）	直接 委託	【新】県ホームページなどの利用時のUX（ユーザー体験・導線設計）を抜本的に改善するため、以下2事業を実施する。		
			①専門家によるUX改善の実行（5件） ②職員によるUX改善実施の支援（10件以上） UXの見直し検討件数：15件以上		